

議会広報特別委員会

日 時	令和元年12月20日（金） 閉会中	9時45分 開会 10時11分 閉会
場 所	相良庁舎4階 第3会議室	
出席議員	（委員長） 2番 濱崎一輝 （副委員長） 3番 原口康之	
	6番 藤野 守 5番 平口朋彦	
	4番 吉田富士雄 1番 鈴木長馬	
欠席議員		
法第105条出席		
事 務 局	局長 植田 勝 書記 森田さおり 書記 北原大輔	
説明員		

署名 議会広報特別委員長

開会の宣告

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

皆さん、それでは、本会議に引き続きまして、ただいまより、議会広報特別委員会を開催いたします。

2 事件 (1) 議会だより第57号について

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

本日の事件、一つ目ですね。議会だよりの第57号について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

では、議会だより第57号についての、まず進捗状況について、ご説明をさせていただきます。各議員の皆様には、12月11日付で原稿依頼のほうをさせていただきました。その原稿依頼の提出期限というのは、総括質疑及び通告質疑につきましては、12月23日、そのほか一般質問等、全ての原稿の提出期限というのが12月27日と、要はことしいっぱいというふうになっておりますので、まだ全ての原稿は出そろっていない状況ではありますけれども、随時、原稿の提出状況につきましては、また委員長にご報告させていただきます。出ていない方等おりましたら、また委員長から催促をお願いすることになるかと思えます。

2点目で、イのページ割りについてでございます。本日、前回と同様のページ割りの比較表を添付させていただきました。前回から、委員会内の質疑だったりとか、今回は討論はなかったんですけど、そういったことも勘案しまして、おおむね当初の予定どおり、11月定例会の報告につきましては、4ページ、もしかしたら3ページに減るかもしれないぐらいに、少し予想をしております。

そうしますと、前回もそうだったんですけども、19ページの1ページがあきというふうになっておりますので、今回の11月定例会を振り返ってみて、私のほうで少し考えたのは、補正予算連合審査会のほうが、質疑等が少しあったかなというような気がしますので、補正予算連合審査を1ページふやしてもいいし、補正予算を1ページでいくなら、その他、何かしらの議会のニュースというか、報告事項なんかを載せても、それはそれでいいかなというふうに思っていますので、そこにつきましては、本日ご協議をいただければなというふうに思います。

なお、表紙の地頭方小学校の写真についてなんですけれども、一応教頭先生のほうに依頼をしまして、了解を得ましたので、年明け早々にまた送ってくれるというようなお返事もいただいておりますので、そちらにつきましては、また提供があり次第、皆様のほうにお見せしたいと思

ますので、よろしくお願ひいたします。

以上です。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

ありがとうございます。

今、説明がありましたけれども、19ページの扱いをどうするかというところですが、補正予算のほうを1ページふやしてもいいのではないかと、この点について、ご意見などあれば、お願ひいたします。

特にないですか。

特別に今まで設けてきた項目なんかもありますけれども、補正予算はどんな感じになるかというところですがね。

シリーズものを載せてもいいと思いますけれども、なければ。

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

今、余りないといいますか、特にとということでしたので、もしなければ、1月上旬ぐらいに、市のホームページに合わせて議会のホームページなんかもリニューアルされるものですから、例えばそういったものを、少し1ページ特集をしてあげて、ホームページが変わりましたよということで、市も変わっているんですけど、議会だよりでは議会に特化して、市議会ホームページのことを少しお知らせしてあげてもいいかなというふうには、少し考えます。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

あと、あれですかね。裏面のところの半分上も残っているじゃんね。その辺も踏まえた中で、1ページあえてとって、議会のホームページのリニューアルについて、1ページ分とってやるのか、裏面を活用してやるのか、その辺によっても変わってくると思うんですけども、どうですか。

原口委員。

○（原口康之君）

ホームページのお知らせというものの内容に関しては、1ページぐらい必要ということ。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

どこまで詳細にお知らせするかというところはあるんですけども、逆に言えば、1ページにもなるし、もし裏面半ページということであれば、半ページにもなり得るかと思う。ただ、半ページだと、やっぱり、どうしても書く内容といえますか、量的には減ってしまいますので、なかなか詳細にお伝えするとなれば1ページ、単純にホームページをリニューアルしましたということだけであれば半ページでいけるかなというふうに思っています。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

原口委員。

○（原口康之君）

それだったら、今までにない試みでもあるので、詳しく載せてあげたほうがいいかなと、私は考えます。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

その他意見があれば。

藤野委員。

○（藤野 守君）

ちょっと前後しちゃうようで申しわけないんですけど、補正のほうは、今度災害復旧の関係が結構あったじゃんね、そういうのは十分載せるスペースは、これで1ページで間に合うような感じかな。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

補正予算連合審査会での質疑を、もし全て載せるというものであれば、1ページではとても足りないかなと思います。当然災害もそうですし、そのほかの補正もそうなんですけど、そこを厚く載せるのであれば、それも2ページぐらいはとる必要があるかなと。当然、文だけ載せていても、余りおもしろみがないので、写真なんかまぜながら載せていく必要があるかなというふうに考えます。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

藤野委員。

○（藤野 守君）

災害復旧の関係は、市民はちょっと関心あると思うんだよね。なので、その辺のスペースをある程度確保するような格好で、今言ったようなホームページの変えるもの、その辺ももちろん関心あるところだと思いますので、その辺を、補正予算の関係もとった上でそれを考えていただこうかなと思うんですけども。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

特に、裏面の上半分は、特集的に載せるものはないんだよね。今のところ。

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

もし、そういったことであるなら、11月定例会の報告で今、4ページ目から7ページ目までとっておるんですけど、そこを、今回通告質疑はお三方だけだったものですから、残りは委員会での質疑ということになるものですから、今回、総務の委員長、文教の委員長、広報委員会の委員さんでいらっしゃいますので、委員会への質疑で載せる量を少し減らして、その分を補正予算に持ってくるというのも一つあります。

逆に、今おっしゃるように、そっちも、11月定例会の報告も厚くして、補正も厚くするというふうになれば、19ページ目、要は補正予算を1ページ伸ばして、19ページ目が埋まって、裏面の上段にホームページの報告が来るというような格好になると思います。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

平口委員。

○（平口朋彦君）

私も、今回の台風19号というのは、残念ながら牧之原市内でお一方もなくなっていますし、過去に例にないくらい避難された方が多いという、牧之原市にとって、ことし一番の大ごとだったというのがあります。それに対して、議会がどういうふうな、事前はともかくとして、事後、どういうふうな対応をしたかというのは、やっぱり議会が果たすべき職責をきちんと果たしているんだというところを、やっぱりアピールする意味でも、災害復旧費という部分は、紙面を厚くすべきかなとは思っています。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

今の意見で、追加する方もいらっしゃると思いますけれども、ほかの意見とかはございますか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

よろしいですか。

私も、補正予算に関しては、もう1ページとったほうがいいかなと思うので、19ページのところ、ちょっと一つずつずらすような感じでやってもらって、裏面の上段になりますけれども、その部分でホームページのリニューアルに関して入れていけばいいかなと思います。

どうでしょうかね。よろしいですか。

〔「異議なし」と言う者あり〕

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

では、そんな方向でいきたいと思います。

事務局いいですか。

それでは、そんな形でいきたいと思います。

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

確認の意味を込めて、少しページ割りのほうを確認させていただきますので、表をごらんください。2ページ目は正副議長、委員長挨拶、3ページ目は議会構成お知らせ、4から7が11月定例会の報告、ここまでは変わりございません。8、9で補正予算の連合審査会を載せます。10ページ目の議案の一覧、11ページ目から一般質問、11ページ目が大井議員、12ページ目が植田議員、13ページ目が名波議員、14ページ目が平口議員、15ページ目が藤野議員、16ページ目が大石議員、17ページ目が濱崎議員ときて、18ページ目にリニアの意見書、19ページ目に所管事務調査のテーマ決定、そして裏表紙にホームページのリニューアル及び編集後記というようなページ割りによ

ろしいですかね。そこだけ確認をお願いします。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

今、事務局から説明があったページ割りでいきたいと思います。よろしいですかね。
平口委員。

○（平口朋彦君）

裏、20ページ目に、編集後記の上の、上段部分、いくばくかの余白ありますよね。その部分に、もしあれだったら、ホームページのリニューアルを入れて、どれぐらい今とれるんだっけ。4段組の2段とれる。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝）

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

裏表紙につきましては、今、僕の手持ちの資料で申しわけないんですけど、ここで一番下に、編集後記がきまして、2段目の、この9月定例会の日程という部分と、その右のもっと知ろうと、この部分は近年の議会だよりでは固定というふうになっていますので、この一番上の、この部分にホームページのリニューアルお知らせがくると。最上段にホームページリニューアルのお知らせがくるといようなレイアウトになるかなと考えています。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

平口委員。

○（平口朋彦君）

あと、17ページ、リニア意見書は、国向けと県向けとありますよね。リードの部分は国も県も一緒なんですけど、下の記のところは、国も県も違うじゃないですか。そこはどのような形で載せるつもりですか。県のほう、意見書を否決しているので、その辺もちょっと大きいかなと思って。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

当然、リード部分は共通ですので、そちらはそのまま載せるつもりでおります。下記の部分というんですか、記よりも下の部分が国と県と内容が違うものですから、そこで二つに分けて、こっちは国を、国向けはこういう記になっています、県向けはこういう記になっていますということで、分けて記載するように、今は考えています。

ただ、リードの部分をページに入れてみないと、そこでどれぐらい、1ページの中で割りをくうかが少し読めませんので、そこは適宜入れた中で対応していきたいというふうに考えています。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

以上、そんな形でページ割りのほうはいきたいと思います。
その他、意見があれば。

藤野委員。

○（藤野 守君）

確認なんですけど、表紙の写真、これはデータで来るんですか。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

データでの提供はお願いをしています。データでいただいて、データで業者のほうには依頼をしておりますので、データも j p e g で、要は写真データでいただくということで、学校には依頼をしております。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

藤野委員。

○（藤野 守君）

広報まきのはらに比べて、やっぱりあちはなかなかプロ級の人たちが写真を撮っているので、かなりきれいな写真なんですけど、学校からののは、ちょっと曖昧なピントというか、そういう感じがちょっとするので、一応それは聞いたんですけど、出してもらおうので、どうこう言えないんですけど、一応それは確認です。わかりました。できたら、より鮮明なものが本当はいいんだけど。わかりました。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

おっしゃるとおり、どうしても今の議会だよりの写真は、ある意味ピンボケというか、画質が少しぼけているように見えて、逆に広報まきのはらのほうは鮮明に写っているというのが、実際現状だと思います。

広報まきのはらのほうは、あの写真は実際に広報担当の職員がしっかりした一眼レフのカメラで撮りにいったものの中から決定している。今の議会だよりは学校へ依頼しているというような状況なんですけど、理想を言えば、やはり議会だよりの写真もちゃんとしたカメラで撮って、要は縦長の写真になるものですから、自分たちは、僕のほうはそのイメージが湧いているので、もし僕が撮るといふうになれば、その表紙にあったような、例えば拡大縮小も含めて、どのぐらいの位置に、例えば人間、子供が写っていればちょうど中心に来るかなとか、どれぐらいの下まで写っていれば、より躍動感がある表紙になるかなというのを、もし僕が撮るならばわかるんですけど、どうしても学校に依頼している以上、学校のほうにも前後の議会だよりをわたして、こういうイメージになりますよというのは言うてはおるんですけども、やはりなかなかそこで、学校が想定しているものと、こっちが想定しているものというところで、どうしても相違といただきますか、わからない部分があって、なかなか今のようになっています。

学校の表紙につきましては、あと2号、59号までだったと思いますけれども、各市内小学校が、

59号で全ての小学校が終わるといようなことになりますので、また60号からは、そのときにまた広報委員さんにお諮りすることに、今後の表紙の写真についてお諮りすることになると思いますので、そのときには、またご意見とかいただければというふうに思います。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

これって、あれでしたか。小学校だけでしたか。中学校はやらない。
事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

現状は、市内小学校に限定しております。市内小学校が9校あるものですから、9校に依頼するといっても、年4回しか出ないものですから、ここまで2年半ぐらい近くかかって、ようやく全て市内各校が回り終わるといようなことになります。それ以降については、一切依頼はしておりませんので、そこに関しては、また広報委員さんの中で表紙写真のあり方というのを協議していただければと思います。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

平口委員。

○（平口朋彦君）

私個人としては、確かに一眼レフとコンデジなので、画素数からして甘いというのものもあるし、焦点もぼけているというのものもあるんですけど、子供の写真というのは、個人的にはすごく好意的に見ているんですけど、評判はどうなんですかね。そういう、あれは何っていますか。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

この、今の小学校に依頼する前というのは、各文化協会とかに依頼をして、風景写真であったりだとか、要はそういった写真がお好きな方から提供いただいているというような状況でありましたので、風景写真が多かったです。

その前は、議会活動の写真が多かったんですけど、その間に、一度だけ、皆さんも覚えているかと思いますが、サーフィンのこの写真を載せたことがあったんですけども、この写真を載せたときに、相当議会だよりが減ってしまって、庁舎の議会だよりなんかも補充したというような、これは実際の事例なんですけど、あって、足りなくはなっていないんですけど、大体、庁舎の下のところにある議会だよりって、毎回20部ぐらいを入れて、その20部が、大体次号発行まで残っているんですけど、そのときにはなくなって途中で補充したというような事例もあったものですから、直接的な意見とか、この今の小学校に依頼してからの評判というのは、逆になかなかあれなんですけど、そのときにはすごく評判がよかったということから、子供の写真をメインにしたというような経緯というか、あります。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

平口委員。

○（平口朋彦君）

ここでも、書庫に保管してあるものでも、冊数が少ないものがある。あと残り1冊しかないものも何号だったかあったけど、ああいうのってどうするのか。ここで残り1冊がはけてしまったら、追加で刷らないですよ。でも、補完しておかないとまずいというのはあるのか。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

3部は永久保存用としてとってあります。ですので、それと別で配布用ということで、今あそこに保管してあるものがあるので、最悪その1冊がなくなって、それ以降、もしその号がほしいという依頼があれば、そのときはそのときで考えるんですけど、今のところそういった事例はありませんので、3号はとってありますし、データではずっと、もちろん残っておりますので。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

この表紙に関して言うと、視察研修に行った中で、人物を載せたほうがいいよということで、しかも子供を載せると好評だということで、他市町の議会だよりでもそんなことが結構あったものですから、うちも参考にしようということで、小学校に依頼したという経緯があるものですから、あと3回かな、それが終わった後にどうするかということもあると思うんですけども、引き続き、人物像は載せていきたいなというふうに思っていますけれどもね。

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

一点補足で、どうしても子供の写真を載せる、子供も人物もそうなんですけど、載せるとなると、やっぱりどうしても肖像権といいますか、プライバシーの問題が出てくるものですから、ある意味、逆に小学校のほうに正式な形で依頼をして、小学校のほうから正式な形で、そういったプライバシーの問題も加味した中で大丈夫な子供さんを、今提供していただいているという状況があるものですから、そこでもし、例えば事務局が撮りに行って撮ってもいいんですけど、どうしてもその子供さんとかのプライバシーの問題というのが出てくると少しあれかなと思って、そういった経緯もあって、小学校に依頼しているというような状況です。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

平口委員。

○（平口朋彦君）

まさにそうだと思うんですね。先生方もちゃんと留意してくださって、縦で使いやすい写真とか、いろいろ考えてくださっていると思うので。

これ、一つ提案なんですけど、小学校が終わったら、次は保育園、幼稚園でもいいのかなと。保育園、幼稚園でも先生方もちゃんと留意してくれて、撮っていい子、悪い子というのはちゃんと見てくれていると思うし、さらに喜ばれるかなと思うんですね。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

ぜひ、検討していきたいなと思います。それも、事前に早目に言ったらいいんだよね。その場合は。

事務局書記。

○事務局書記（北原大輔君）

あと2号という話ですから、来年の11月に発行される号からは、恐らく変わるふうになると思うので、逆にそれを先に前段階でどうしていくかというのは、次々号ぐらいの段階で検討してもらえればなというふうに。それはまた、そのときになったら事務局からも提案させていただきますけれども。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

では、そんな形で検討していきたいと思います。

そのほか、何かありますか。

鈴木委員。

○（鈴木長馬君）

田沼意次の300年祭ということでやったんですけど、そのときに、予算が3,000万円という予算で使って、あと、議会としてはその辺をどうするかというのがあると思うんですね。例えば継続して見ていくとか、いろいろあると思うんですけど、その辺が単発じゃないかということをおっしゃられたことがあるので、その辺というのは、例えばちょっとこのところへ載せてくれたらなと思ったんですけど、前後になってしまって申しわけないんですけど。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

平口委員。

○（平口朋彦君）

今回、本当、たまたまですが一般質問で植田議員が取り上げているというのもありますし、田沼意次侯300年記念大祭もそうですし、この一連の事業は来年9月の決算のときに事業成果とともに皆さんから質疑が飛ぶと思うので、ちょっとタイムラグがすごいディレイするんですけど、そのときのほうがやっぱりふさわしいのかなと、個人的には思うんですね。なので、今ここでどうのこうのしたって、この議会広報だけのジャッジメントになってしまうので、やはり本会議場で皆さんの意見が出た中で答弁ももらいつつも、どういうふうな形というふうにしたほうがいいのかなと思いますね。

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

関連して、ほかは意見は。

〔「なし」と言う者あり〕

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

私も、今、平口議員が言ったように、ちょっとタイムラグがあると思うんですけども、議会としての意見がまとまった時点で出せばいいかなと思うんですけど、載せたいというご意見もありますけれども、そこに関しては、そんな形でいきたいと思います。

3 その他

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

その他はほか何かありますか。

〔「なし」と言う者あり〕

○議会広報特別委員長（濱崎一輝君）

それでは、きょうはこれで終わりたいと思いますけれども、一般質問とか、その他質問された方の締め切りがありますので、締め切りまでには原稿とあわせて写真のほう、イラスト、合わせて出していただければと思います。

それでは、以上をもちまして議会広報特別委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。

〔午前 10時11分 閉会〕